

短大協発第28006号

平成28年4月18日

会員短期大学

理事 長 殿
学 長 殿
事務局 長 殿
教 職 員 殿
入試広報担当者 殿

日本私立短期大学協会
会 長 関 口
広 報 委 員 会
委員長 福 井



第16回「私立短大入試広報担当者研修会」開催について（通知）

標記の研修会を別紙実施要領の通り、来る6月29日(水)～7月1日(金)の3日間、仙台市「仙台ガーデンパレス」を会場として開催いたします。

学務ご多忙の折柄とは存じますが、貴学入試広報担当者をはじめ、他教職員の方々の多数ご参加を賜りたくご通知申し上げます。

◎同封書類

- ・第16回「私立短大入試広報担当者研修会」実施要領

※本研修会は参加申込処理等を迅速に行うため、電子媒体(MS-Excelファイル)およびEメールを用いてお申込みいただいております。

まず、①本協会ホームページから申込書ファイル(MS-Excel形式)をダウンロードし、②必要事項をパソコンにて入力の上、③本協会宛にEメールにて申込書ファイルを添付し、お申込みください。

なお、申込書の入力方法、送信方法の詳細は、後述の「研修会参加費納入及び参加申込み方法について」、「参加申込み手順について」等を必ずご参照ください。

参加申込締め切り期日 5月20日(金)〔必着〕

第16回「私立短大入試広報担当者研修会」実施要領

主催 一般財団法人私学研修福祉会

協力 日本私立短期大学協会

『連携が短大を元気にする』

「連携」という言葉を『広辞苑』で調べてみると、「同じ目的を持つ者が互いに連絡をとり、協力し合って物事を行うこと」とあります。特に平成21年に告示された高等学校学習指導要領において、「大学などとの連携や交流を図る」と謳われて以来、就学過程の接続性を図り、進路探求の動機づけを促す高大連携事業が盛んに行なわれるようになり、「連携」という言葉そのものが、私たちが身を置く教育界にあっても日常的に話題に上がることが多くなりました。

高大連携事業の取り組みの一つとして、出張講義などは、近年では多くの大学で実施されています。しかし、連携事業の取り組みは、高校と大学との間だけにとどまっていけないものだろうかという点、地域連携や大学間連携などまだまだ検討の余地がありそうです。

そこで、今回の研修会では「連携」をキーワードに、まず全体会では、地域に密着した高等教育機関としての活動事例を「行政からの試み」、「短期大学からの試み」として、それぞれ紹介することにしました。

さらに分科会においては、入試広報の具体的な活動事例について議論を深め、その解決方法を見出す中で、他短大の教職員との連携、各短大内での教職員連携(協働)の重要性などを研修したいと思います。

高大連携にせよ、地域連携にせよ、「連携」の成果を勝ち取るためには、「信頼関係」を築き上げることが大切です。そのためには、相手のニーズをしっかりと聞き取ることが求められます。また、相手に訴えたい情報を正しく伝えることも重要です。

研修会に参加してくださる皆さまと連携しながら、地域コミュニティの基盤となる人材養成の場としての短期大学の活力を明日に向かって一層高めていきましょう。

研修会概要

- 開催期日 平成28年6月29日(水)～7月1日(金)の3日間
- 会場 「仙台ガーデンパレス」
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-5
TEL 022-299-6211 FAX 022-299-6248
〈10頁 「研修会場案内図」参照〉
- 参加資格 私立短大の入試広報(学生募集)担当者および研修内容にご関心の教職員の方々。
- 参加経費 全日程で1人28,500円
(参加費、情報交換懇談会費、昼食代、コーヒー代を含む)
- 申込方法等 「研修会参加費納入及び参加申し込み方法について」〈7頁〉及び「参加申し込み手順について」〈8頁〉をご参照ください。
- 申込締切期日 平成28年5月20日(金)〈必着〉
- 宿泊 本研修会の参加に伴う宿泊の斡旋はいたしません。研修会会場の「仙台ガーデンパレス」に宿泊を希望される場合は、来る5月31日(火)までに直接ホテルへ電話(022-299-6211)にて、「私立短大入試広報担当者研修会に参加」と申し添えてお申込みください。
 - <1泊素泊まりプラン>
シングルルーム 6,900円
 - <1泊朝食付きプラン>
シングルルーム 7,500円※宿泊料金は、税・サービス料込の料金です。
- その他 (1)研修会の受付は、6月29日(水)12時より「仙台ガーデンパレス」2階『鳳凰の間』前のロビーにて行います。
(2)研修会第1日の18時から、「情報交換懇談会」を行います。その際、名刺交換を行いますので十分な名刺をご持参ください。
(3)分科会研修の運営については、運営委員会にて検討を行いますが、運営の参考とするため、参加される方が抱えている課題や他短大に聞いてみたいこと、情報交換したい内容等、あらかじめ『参加申込書』の末尾の「1)アンケート」欄に、忌憚のないご意見をお寄せください。
(4)参加者相互の理解を深めるため、所属短大の学校案内等2部ご持参ください。全体会場及び分科会会場にて、みなさんが閲覧できるよう展示いたします。
(5)研修会第2日の分科会研修終了後に、参加者相互がより親睦を深めるための(任意による)情報交換会を開催する予定です。奮ってご参加ください。※参加費は3,000～4,000円程度。

研修会日程

第1日・6月29日(水)	第2日・6月30日(木)	第3日・7月1日(金)
<p>12:00 受付</p> <p>12:30 開会挨拶 オリエンテーション</p> <p>12:50 【全体会／講演Ⅰ】</p> <p>14:20 休憩</p> <p>14:30 【全体会／講演Ⅱ】</p> <p>15:30 休憩・移動</p> <p>16:00 【分科会研修】</p> <p>17:30 休憩</p> <p>18:00 【情報交換懇談会】</p> <p>19:30</p>	<p>9:00 【全体会／事例報告】</p> <p>10:30 休憩</p> <p>10:40 【全体会研修】</p> <p>12:00 昼食・休憩</p> <p>13:00 【分科会研修】</p> <p>※休憩(コーヒーブレイク)</p> <p>17:00</p>	<p>9:00 【分科会研修】</p> <p>10:30 休憩・移動</p> <p>10:45 【全体会／ 分科会まとめの発表】</p> <p>12:00 閉会挨拶</p>

研修会内容

《第1日・6月29日》

■全体会／講演Ⅰ

1. 「みんなが創るまちなかの価値（新潟県長岡市）

— 誰もが楽しみ安心できる場所 誰もがつながり育てるまち —

長岡市 中心市街地整備室 まちなか政策担当課長 相田 和規氏

平成5年4月、長岡市採用(土木技術職)。都市計画課、都市開発課、政策企画課等を企画・政策部局経て、平成27年4月から現職。

2. 「『まちなかキャンパス長岡』が目指すもの

— 地域の大学等とのコラボレーションを通して —

長岡市 まちなかキャンパス長岡室長・運営協議会事務局長 多田 博則氏

私立高校教員として19年勤務した後、長岡造成大学設立準備委員会課長として学校法人長岡造形大学の立ち上げに関わる。平成6年の開学から同大学事務局に勤務し、平成17年から24年3月まで大学法人の常務理事として大学管理運営業務に携わる。平成24年4月から現職。

👉 「まちなかキャンパス長岡」は、新潟県長岡市の長岡駅前にオープンした「学びと交流の拠点」です。長岡市では、平成18年3月に中心市街地における都市再生整備計画を策定し、郊外分散した都市機能をまちなかに回帰させることの促進と、防災性と利便性の高い中心市街地を創造することを目標に掲げました。計画の柱の一つでもある「まちなかキャンパス長岡」では、「米百俵の精神」を受け継ぎ、人材育成に力を注いでいます。このような長岡市の大学と連携したまち作りの取り組みについても報告いたします。

■全体会／講演Ⅱ

「いずみ絆プロジェクトから

杜の都・学都仙台における街興し—地域貢献による大学広報—

聖和学園短期大学 学長 鳴海 渉氏

1973年4月泉市採用。税・財政・福祉・教育部門を経て教育委員会保健体育課長を経て、1988年仙台市との合併により仙台市採用。社会教育課長、東京事務所副所長、秘書課長、商工振興課長、仙台市社会福祉協議会常務理事、生涯学習部長、泉区副区长、健康福祉局次長、太白区長定年退職後、2009年聖和学園採用、2013年から現職。

👉 聖和学園短期大学のある仙台市泉区は、仙台市北部の住宅団地が連なる人口急増地域ですが、地域活動の中心である町内会組織の高齢化によって低迷化が課題となってきました。

活力のあるまちづくりを行うため、泉区と本学を含む区内5大学と協定を結び支援を行い、大学への理解を深め、広報に繋げている現状について説明、報告いたします。

■分科会研修

「連携が短大を元気にする」

- * 自己紹介を中心に、3日間の分科会研修の進め方について共有します。

分科会研修の趣旨

* 今回の分科会研修では、『連携が短大を元気にする』を統一テーマに3日間に亘り担当者同士が悩みを共有し、議論していく中で、元気を分かち合い、再び日常の業務に戻るということを目的としています。あくまでも参加者が主体となり、気付きをもとに問題解決へのアプローチを大切にします。答えだけを追い求めるものではありません。運営委員は、ファシリテーターとして参加者に寄り添って頑張ります。

■情報交換懇談会（立食形式）

- * 参加型アトラクション多数

《第2日・6月30日》

■全体会／事例報告

「新設短期大学における学生募集—開学から8年を振り返る—」

仙台青葉学院短期大学 入試広報センター長

傳法谷 晃 信 氏

■全体会研修・・・他の分科会の参加者とも交流

「連携が短大を元気にする」

- * 初日の講演や午前中の事例報告から私たちはどのような課題を発見し、気付きを得たのでしょうか。気付きを共有することがみなさん一人ひとりの研修成果を必ず向上させていきます。ぜひご協力ください。

■分科会研修（前日の続き）

「連携が短大を元気にする」

- * 初日の講演や午前中の事例報告をベースにして、分科会ごとにテーマを選び議論します。答えを出すというものではありません。みなさんのこれまでの経験を活かしながら、問題の解決に向けて積極的な議論が行えるよう、どうかご協力ください。

参考テーマ例

- ①高校訪問 ②オープンキャンパス ③入学試験 ④情報分析 ⑤パンフレットとWeb広報
- ⑥インターネット活用と大学広報 ⑦短期大学の魅力発信 ⑧プレゼンテーション ⑨高大連携
- ⑩産・官・学連携 ⑪地域と短期大学 ⑫広報予算と戦略 ⑬専門学校との差別化
- ⑭短期大学の生き残る道 ⑮個人情報保護と大学広報 など

■情報交換会（参加は任意）

《第3日・7月1日》

■分科会研修

- ・分科会ごとに討議・まとめ。
- ・グループ発表のための準備。

■全体会／分科会まとめの発表

運営委員（指導員）

福井 一光	鎌倉女子大学短期大学部	理事長・学長〈委員長〉
桂 健太郎	育英短期大学	入試広報課長
秋草 誠	秋草学園短期大学	入試広報室室長
小比賀 誠	富山短期大学	入試広報課長
後久 真嗣	仁愛女子短期大学	学生部入試広報課課長補佐
六浦 政人	修文大学短期大学部	広報課長
平松 靖一郎	豊橋創造大学短期大学部	渉外部次長（兼務: 企画室長/入試広報センター室長）
山田 純	大阪城南女子短期大学	広報室課長
島崎 千江子	大手前短期大学	ライフデザイン総合学科学科長・教授
松元 健治	広島文化学園短期大学	副学長

（順不同・敬称略）

研修会参加費納入及び参加申込み方法について

「参加費」の納入は銀行振込みにより、財団法人私学研修福祉会宛にご振込ください。

「申込書」は日本私立短期大学協会宛にEメールにてご送信願います。

1. 参加費の納入方法

- (1) 参加費は全日程で1人28,500円です。下記にお振込みください。

銀行名・支店名： 三菱東京UFJ銀行 神田支店

口座の種類・口座番号： 普通 1225036

口座名： いっぽんざいだんほうじん 一般財団法人 しがくけんしゅうふくしかい 私学研修福祉会 (たんだいくち) (短大口)

- (2) 前記の銀行口座にお振込みの際、必ず「依頼人」欄には、**短期大学名を明記**してください。
- (3) 参加者が2名以上の場合は、一括してお振込みください。
- (4) 日本私立短期大学協会からの領収書は発行いたしません。
- (5) 一度納入された参加費は原則として返還いたしません。振込後に欠席される場合には、研修会終了後、当日配布資料の発送をもって代えさせていただきます。

2. 参加申込み方法

- (1) 申込処理等を迅速に行うため、本研修会の参加申込みは電子媒体(MS-Excelファイル)及びEメールを用いてお申込みください。

まず、①本協会ウェブサイトを開き、【広報委員会】の本研修会ご案内ページから、申込書ファイル(MS-Excel形式)をダウンロードし、②必要事項をパソコン入力のうえ、③本協会宛にEメールにて申込書ファイルを添付して、お申込みください。

本協会ウェブサイトURL <http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

なお、申込書の入力方法、送信方法に諸注意がございますので、詳細は後述の「参加申込み手順について」を必ずご参照ください。

- (2) 申込書には、参加費納入確認を円滑に行うため振込み手続きに利用される「金融機関名・支店名」「参加費振込日」を入力する欄があります。申込書の入力に先立ち、参加費の振込み手続きをお願いいたします。なお、学内の事務手続きの関係で振込みが遅れる場合は、その旨を通信欄に入力し、「参加費振込日」には振込予定日を入力してください。
- (3) 参加申込み締切り期日は、平成28年5月20日(金)〈必着〉です。厳守願います。
- また、申込みが締切り期日より遅れる場合は、必ず事前に事務局までその旨をご連絡ください。

本研修会に関する問合せ先：日本私立短期大学協会 事業課

担当：中澤 E-mail: kouhou@tandai.or.jp

TEL 03-3261-9055 FAX 03-3263-6950

参加申込み手順について

研修会の参加申込みにつきましては、下記文書をご一読のうえ、お申込みいただきますよう、よろしく
お願いいたします。

記

参加申込み手順

所定の申込書ファイルをダウンロードして、必要事項を入力の上、Eメールに添付してお送りください。
なお、**申込み期限は平成28年5月20日（金）〈必着〉**です。

1. 申込書データファイルのダウンロード

<http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

1. 申込書データファイルのダウンロード

(1) 日本私立短期大学協会のWebサイトの下記URLにアクセスする。

<http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

(2) 申込書データのダウンロードページを開く

さらに、【広報委員会】ページ、そしてその中の、【第16回「私立短大入試広報担当者研修会」開催について（通知）】ページにアクセスすると、研修会の案内及び申込書のダウンロードページが表示されます。

(3) 申込書データをダウンロードする

申込書は、Excel形式のデータファイルとなっております。
※Internet Explorerの場合、リンク先を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択し、ご自身のパソコンの任意のフォルダへ保存してください。

2. 申込書データファイルへの入力

2. 申込書データファイルへの入力

(1) シート構成

申込書データファイルは以下の3シートで構成されています。なお、ブック及び各シートは「保護」を設定していますので、項目や書式の変更はできません。

① 「はじめに（必読）」シート

このシートの内容を確認のうえ、データ入力してください。

② 「申込書」シート

このシートに必要な事項をすべて入力してください。

③ 「事務局用（入力不要）」シート

このシートはデータ回収後に事務局が使用するためのものなので、入力不要です。（削除しないでください）

※自作ファイル、もしくは流用作成したファイルでのお申込みは一切お断りいたします。

(2) 複数人お申込みの場合

お二人以上でお申込みの場合は、1名につき1ファイルで申込書データファイルを作成してください。

3. 申込書データファイルの送信

kouhou@tandai.or.jp

3. 申込書データファイルの送信

(1) 申込書データのファイル名を変更する

ファイル名は元のファイル名（nkken28）の後に、短大名を付加してください。なお、複数名申込みの場合のみ短大名の後に数字を付加してください。

例) アルカディア短期大学で2名申込みの場合

→ nkken28アルカディア1.xlsx

nkken28アルカディア2.xlsx

(2) 申込書データファイルを送信する

入力内容を最終確認後、申込書データファイルをEメールに添付して、学内担当者から協会事務局へ送信してください。

送信先 : kouhou@tandai.or.jp

(3) メール の 件名

「〇〇短期大学 入試広報研修会申込み」としてください。

(4) 「開封通知機能」の付加

メール送信の際は「開封通知機能」を付加してください。折り返し送信された開封通知をもって、受信確認のお知らせとさせていただきます。「開封通知機能」が付加できない場合は、メール本文にその旨を記載してください。

(5) バックアップデータの保存

送信事故防止のため、申込者の責任でデータを保管してください。

4. 確認メールの受信（申込み完了）

4. 確認メールの受信（申込み完了）

協会事務局からの開封通知の受信をもってお申し込み手続きが完了となります。

申込みメールを送信後、数日経過しても確認メール(開封通知)が届かない場合は、申込みメールが届いていない場合がありますので、お手数ですが必ず協会事務局まで電話にてお問い合わせください。

【お問い合わせ】

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

日本私立短期大学協会 事業課 担当：中澤

E-mailアドレス : kouhou@tandai.or.jp

電話 03-3261-9055 FAX 03-3263-6950

以 上

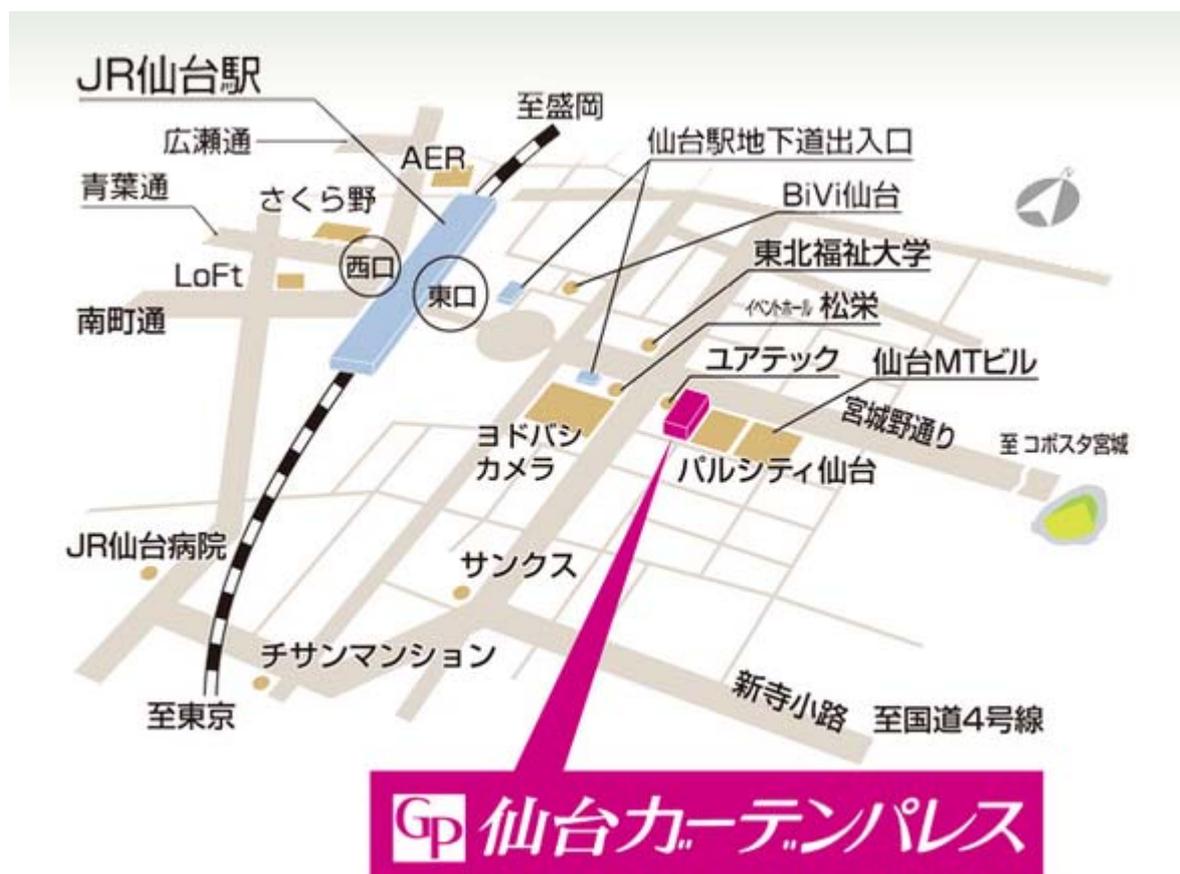
研修会場案内図

「仙台ガーデンパレス」

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-1-5

TEL 022-299-6211

FAX 022-299-6248



○ 仙台駅東口より徒歩3分